



鹿部町立鹿部中学校

学校通信 第5号

電話 7-3114

令和7年8月22日発行

在籍生徒数86名

1A 26名 ひまわり4名

2A 26名 ひまわり2名

3A 34名 ひまわり2名

《重点教育目標》

「主体的に学び続け、自らの人生を舵取りする力」の育成
スローガン 「一歩前へ」 ～ 考 動・共 生・創 造 ～

「考動・共生・創造」を深化させる2学期に

校長 坂 本 学

地球沸騰の時代 (the era of global boiling) の到来を実感せずにはいられない、鹿部町においても例年になく暑い日が続いた夏休みでした。

7月30日には津波警報が発令され、校内で部活動の活動中だった生徒たちが教職員とともに高台へ避難するという出来事もありました。

このような厳しい暑さや自然災害の中においても鹿部中生の活躍は大変賑やかでした。バドミントン全道大会や吹奏楽コンクールへの出場、そして地域行事「しかべ海と温泉のまつり」へのボランティア参加など、生徒たちは真剣に取り組み、それぞれの場で輝きを見せてくれました。

さて、1学期は「共生」の基盤となる「人と人との温かなふれあい」を大切にしながら、教育活動を進めて参りました。2学期は、「考動・共生・創造」をさらに一段階深化させる学期にしたいと考えております。

1年生は校外学習の一環として職場体験学習、2年生は函館での1泊2日の宿泊研修、3年生は東京での2泊3日の見学旅行の行事を予定しています。共通しているのは、自分で考え、判断し、行動する機会が多くあるということです。年齢相応の言動が求められる中で、仲間と協力しながらより良い「考動」を積み重ね、確かな学びを得てほしいと願っています。

さらに、9月30日には本校最大の学校行事「海嶺祭」を開催する予定です。今、この瞬間を仲間とともに創り上げる合唱や発表などの活動は、本校の伝統を継承するだけでなく、新たな学校文化を生み出す貴重な機会と捉えています。若い感性を存分に発揮し、生徒一人一人の「創造」の力を形にしてくれることを、心から期待しています。

また、3年生にとっては、いよいよ進路選択という中学校生活の集大成を迎える学期でもあります。将来の夢や目標と真摯に向き合い、進むべき道を自ら選択できるよう、学習にしっかりと取り組んでほ

しいと思います。

2学期の終わりには全ての生徒が「考動・共生・創造」の深化を確実に実感できるよう、教職員一同力を合わせて支えてまいります。保護者・地域の皆様には、引き続き温かな御理解と御支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

見えない努力が力になる

脳科学者の茂木健一郎さんは著書「脳を活かす勉強法」の中で「鶴の恩返し勉強法」というユニークな学びの姿勢を紹介しています。



これは昔話「鶴の恩返し」の中で、「決して私が織っているところを見ないでください。」と言って、誰にも見られないところで一心に布を織る鶴のように他人の目を気にせず、目の前の勉強に全身全霊で集中するという学び方だそうです。

目で読み、手で書き、声に出す——。まさに五感（視覚・聴覚・触覚など）をフルに働かせるこの方法こそが、脳の記憶をつかさどる「側頭連合野」や「海馬」を活性化させ、知識をしっかりと記憶に残すために最も効果的な方法であるとされています。

茂木氏は「大量に読み、書き、聞き、話し、問題を解く」といった地道な学びの積み重ねこそが記憶を確実に定着させ、力をつけるために最も確かな方法であると述べています。これは派手ではありませんが、確実に実力となっていく「**見えない努力**」なのです。

誰にも見られていなくても、一人机に向かいコツコツと学びに取り組む姿は、まさに鶴の恩返しのようなものです。こうした経験がやがて自信となり、大きな成長へとつながっていくことでしょう。

夏休み中の各種大会報告

夏休み中に行われた各種大会・地区コンクールの結果を報告させていただきます。夏休み前に体育文化後援会をはじめとする皆様からの温かいご支援やご声援をいただき、誠にありがとうございました。その励ましを力にかえて、日頃の練習の成果を発揮し、全力で競技や発表に取り組みました。貴重な経験を通して大きく成長することができました。今後とも変わらぬご支援とご指導をよろしくお願いいたします。結果は、以下の通りです。

〇7/22～24(室蘭市)

第56回 北海道中学校陸上競技大会

2年 宮西 祐興

予選 100m 12" 01

決勝 走幅跳 9位 6m00

2年 松本 陵佑

予選 400m 56" 33

1年 河辺 莉子

予選 100mH 15" 94

〇7/30～8/1(小樽市)

第56回 北海道中学校バドミントン大会

男子ダブルス

3年 松本 蒼生・杉本 蒼哉

1回戦惜敗 1-2

〇7/26(函館市民会館)

第70回北海道吹奏楽コンクール

函館地区大会 銀賞

地域とともに盛り上げた

夏の祭典！

～吹奏楽部と

ボランティア生徒が活躍～

8月16日に開催された「しかべ海と温泉のまつり」で、本校吹奏楽部がステージに出演しました。さわやかな海風と晴天に恵まれ、会場は大いに盛り上がりました。気温の上昇で熱中症も心配される中、アンコールを含む5曲を堂々と演奏しました。観客からは大きな拍手が送られていました。

また、当日は会場運営などのボランティア活動にも多くの生徒が参加し、イベントの円滑な進行に大きく貢献してくれました。暑さに負けることなく笑顔で活動する姿が印象的で、運営担当の方からも感謝の言葉をいただきました。顧問の先生方をはじめ、演奏に参加した吹奏楽部の皆さん、そしてボランティア活動に尽力してくれた生徒の皆さん本当にお疲れ様でした。今回の経験が今後の活動にも大きな励みにしてほしいと思います。



避難行動で命を守る！

7月30日、カムチャツカ半島沖の地震により午前9時40分ごろ鹿部町に津波警報が発令されました。鹿部町も防災無線で避難指示が出され、部活動中の生徒も教職員の指示で無事に避難することができました。災害は予測が難しいため、日頃からご家庭でも避難場所や連絡方法を確認しておくことが大切です。学校の訓練に加え、「自分の命は自分で守る」意識を持ち、緊急時に落ち着いて行動できるよう備えることを願います。今回の体験を教訓に、防災意識を高めてほしいと思います。